様式 2

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第 1～3 学年	書写 734	中学書写
取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　硬筆 　第 1 学年では、点画の特徴に注意して書いたり、点画の連続を考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書や行書で書く、第 2 学年では、配列を理解して書いたり、目的や場面に合った書体を考えたりする活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く、第 3 学年では、文字表現を工夫して手紙を書いたり、書体を工夫してカレンダーを書いたりする活動を通して、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書くなど、目標を達成できるようになっている。 ○　毛筆 　第 1 学年では、点画の筆使いや字形に注意して書いたり、仮名と調和させて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書く、第 2 学年では、点画の連続に注意して書いたり、配列に注意して書いたりする活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く、第 3 学年では、行書と仮名を調和させて俳句を書いたり、卒業記念作品を書いたりする活動を通して、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書くなど、目標を達成できるようになっている。 ○　硬筆と毛筆の関連 　第 1 学年では、毛筆の学習の後に、「学習を生かして書く」において、硬筆による古典の文学作品の冒頭を書く活動、第 2 学年では、毛筆の学習の後に、「学習を生かして書く」において、硬筆による古典の文学作品の冒頭を書く活動、第 3 学年では、これまでの毛筆の学習を生かして、「学習を生かして書く」において、配列に気を付けて古典の文学作品の冒頭を書く活動が取り上げられている。 ○　知識・技能の習得、活用、探究への対応 　第 1 学年では、「学校生活に生かして書く」において、合唱発表会のポスターや案内表示を書くなど、第 2 学年では、「学習活動や日常生活に生かして書こう」において、発表会の立て看板を書くなど、第 3 学年では、「身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書こう」において、メッセージカードを作るなど、実生活との関連を図った活動が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 　第 1 学年では、楷書や仮名の筆使いと字形を学習した後に、行書の筆脈を取り扱い、第 2 学年では、行書の点画の省略を学習した後に、行書と仮名の調和を取り扱い、第 3 学年では、行書の点画と連続について学習した後に、自ら選択した課題を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○　内容の分量 　総ページは、142 ページで、前回より約 26%増となっている。			
使用上の配慮等	○　「竹取物語」や「枕草子」、「おくのほそ道」など、国語科との関連を図った教材を掲載したり（全学年）、各学年の内容に関連した文字や書写の知識に関する内容をコラムの形で取り上げた「あの人が残した文字」を掲載したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　学習の進め方について、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」の三段階に分けて学習内容や手順を示したり（全学年）、生徒が学習する際の参考にすることができるよう、巻末に学習事項に関連した教材や資料を集めた「補充教材集」を掲載したり（全学年）するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　生徒が学習の見通しをもつことができるよう、巻頭に「書写学習の構図」を掲載するとともに（全学年）、3 学年を合わせて一冊の合本としたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすいレイアウトにしたりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　北海道と関連のある教材は、「札幌市の住所を記載した小包伝票」など、3 箇所取り上げられている。 ○　行書特有の穂先の動きや筆運びが分かりやすいように二色の薄墨による解説図版を掲載したつくりになっている。 ○　小学校で学習した「基本点画」「筆圧」「穂先の動き」の学習を、第 1 学年の最初で復習できるつくりになっている。			